

10/16(木)
9:00~
受付開始!

令和7年度 みと歴史講座

日記から見る水戸の歴史

「日記」は、当時の人々が自らの行動や見聞きしたことを記録した非常に貴重な歴史資料です。

今年度は、日記をもとに、幕末から明治にかけての水戸の歴史をひもときます。

第1回「『好文亭日記』から見る明治2年の水戸偕楽園」

水戸藩第9代藩主徳川斉昭の正室（登美宮）に仕えた奥女中の好文亭での記録から当時の偕楽園の様子を中心に、明治を迎えた水戸の様相を紹介します。

【日時】 令和7年 12月6日（土）
13時30分～15時00分

【講師】

村上 瑞木氏

（流通経済大学三宅雪嶺記念資料館学芸員）



偕楽園（好文亭を望む）

第2回「『石河明善日記』第5巻から見た幕末の水戸藩」

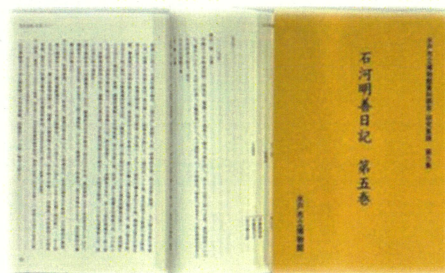
弘道館の訓導（先生）だった水戸藩士、石河明善の日記をまとめた「石河明善日記（第5巻）」に収録された内容をもとに、幕末の水戸藩を様々な視点から紹介します。

【日時】 令和8年1月18日（日）
13時30分～15時00分

【講師】

久信田 喜一氏

（茨城地方史研究会会長）



「石河明善日記（第5巻）」

定員：各日160名

会場：茨城県立図書館2階視聴覚ホール

申込み：10月16日（木）午前9時～

電話で水戸市立博物館

（029-226-6521）まで

先着順で受付

※第1回・第2回片方のみ参加可

参加費：無料

《会場アクセス》

茨城県立図書館（水戸市三の丸1-5-38）

・JR「水戸駅」下車 徒歩約10分

・お車で来館する場合は三の丸駐車場
をご利用ください。

⇒図書館1階駐車券カウンターにて
手続きすれば無料になります。